

京都府立丹波支援学校

ANBA



2023

スクールガイド

SCHOOL GUIDE

丹波で
見つける
自分らしさ

学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達

京都府立丹波支援学校は京都府の中部地域にあります。校区は広く、東は福井県と滋賀県、西は兵庫県と大阪府に隣接しています。京都丹波高原国定公園に代表されるように、豊かな自然に恵まれた人々の暮らしがあることからこの地域一帯は「森の京都」と呼ばれています。その名の通り学校の周りも豊かな自然に囲まれています。

本年度は、小学部 83 名、中学部 55 名、高等部 78 名の全校児童生徒 216 名でスタートしました。教育目標を「学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達」とし、目標の実現に向けて、児童生徒一人一人の障害実態やそのニーズに合わせ「一人一人を大切にした教育」が進められるように取り組んでいます。

児童生徒が高等部を卒業した後は、地域の中で生きることから、校区を学びのキャンバスと位置づけ、より多くの方とつながることで、地域に根差した教育ができるよう日々取り組んでいます。その一つとして、保護者や地域・関係機関の皆様で構成する学校運営協議会を設置し、様々な角度からの御意見を学校運営に反映させながら本校教育の充実発展と「地域に開かれた教育課程」の実現を目指しています。

児童生徒が社会の中で幸せに生きていくための生きて働く力を身に付けることができるよう、教職員一同、教育の質を高める努力を続けます。引き続き、本校の教育の推進に御理解をいただき、より一層の御支援を賜りますようお願いいたします。



校長 由良 知子

◇ 教育目標 ◇

「学び合い・育ち合い・豊かに生き抜こうとする子ども達」

- (1) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の育成
- (2) 基礎的な学力・健康の向上と豊かな人間性の育成
- (3) 一人一人に応じて自立し社会参加する資質や能力の育成
- (4) 生涯にわたり豊かに生き抜く力の育成

◇ めざす児童生徒像 ◇

- た・・・たくましくチャレンジする人
- ん・・・うんとまなぶ人
- ば・・・であいのばをたいせつにして、つながる人

◇ つけたい力の 5 つの柱 ◇

教育目標の達成に向けて、個別の教育支援計画と個別の指導計画の中で具現化し、子ども達の育成につなげます。

- ①からだをつくる・生活をつくる
- ②ものごとに向かう・ものごとを受け止める・考え深める
- ③人と関わり合う
- ④自分をつくる
- ⑤地域社会で豊かに生きる・暮らす

◇ 児童生徒数 ◇

*令和 5 年 5 月 1 日現在

| | 小学部 | 中学部 | 高等部 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 亀岡市 | 52 | 34 | 61 | 147 |
| 南丹市 | 26 | 12 | 13 | 51 |
| 京丹波町 | 5 | 8 | 4 | 17 |
| 京都市 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 合計 | 84 | 55 | 78 | 217 |

*分教室生 2 名含む

◇ 標準校時表 ◇

| | 小学部 | 中学部 | 高等部 |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 1 | 9:10~9:55 | 9:00~9:50 | 9:00~9:50 |
| 2 | 10:00~10:45 | 10:00~10:50 | 10:00~10:50 |
| 3 | 11:00~11:45 | 11:00~11:50 | 11:00~11:50 |
| 4 | 11:45~12:30 | 11:50~12:40 | 11:55~12:20 |
| | 給食・昼休み | 給食・昼休み | 給食・昼休み |
| 5 | 13:30~14:15 | 13:25~14:15 | 13:30~14:20 |
| 6 | 14:15~15:00 | 14:15~15:05 | 14:20~15:05 |
| 下校 15:05 | | | |

◇ 標準服について ◇ (着用例)



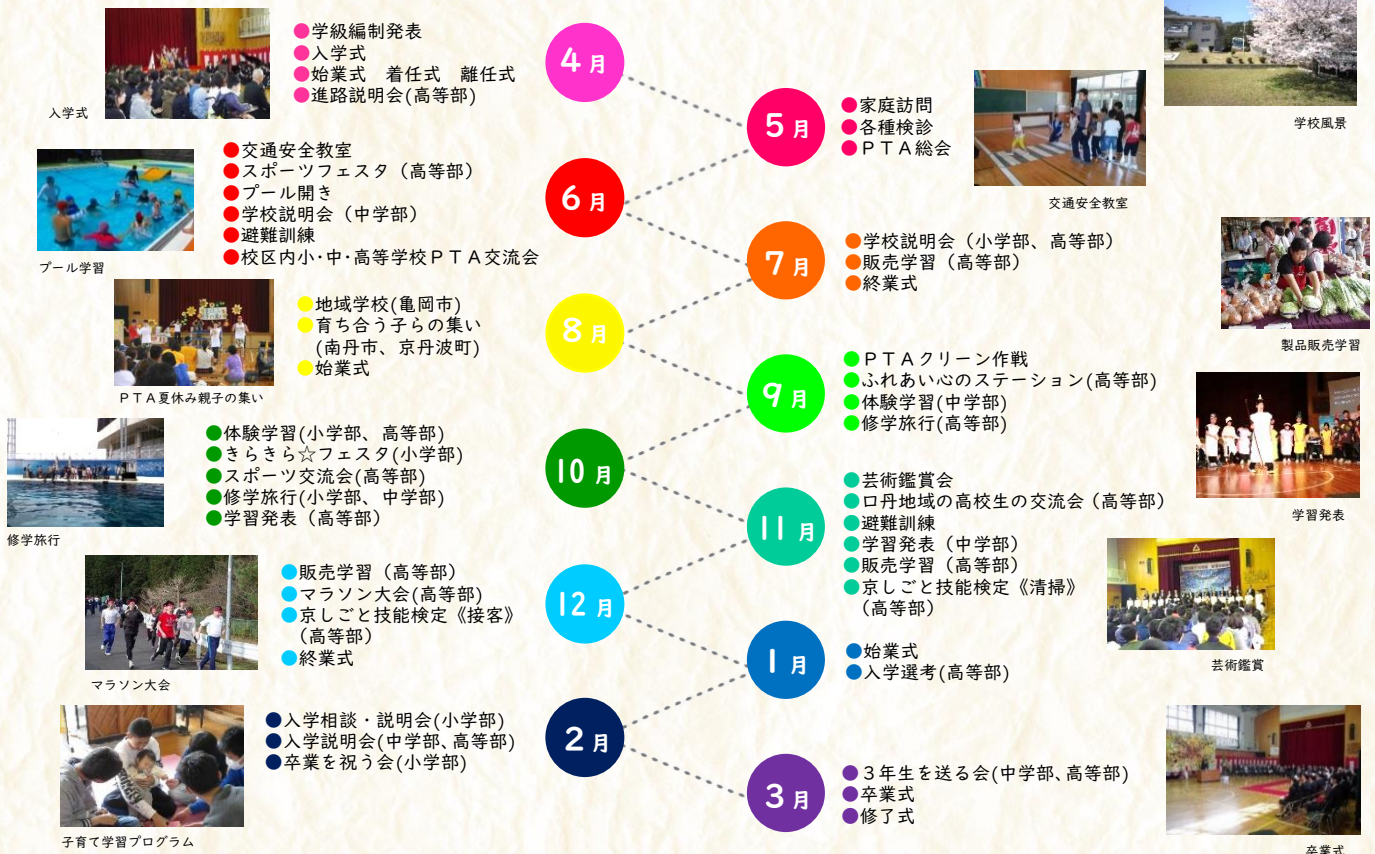
- ・ブレザー
- ・スカート
- ・スラックス
- ・リボン
- ・ネクタイ

組み合わせは自由です。

- ・中学部から着用できます。
- ・丹波支援学校の生徒であることの自覚を一層促します。
- ・TPOに合わせた服装の在り方について学ぶ機会とします。

*ネクタイとリボンについては、高等部から着用します。

◇ 年間スケジュール ◇



◇ 通学について ◇

スクールバス通学 (対象…全学部)

各バス停と学校をつなぐスクールバス(10台)を利用して児童生徒が通学します。

自主通学

(対象…高等部)

公共交通機関(電車・バス)を利用して通学したり、自転車や徒歩で通学したりします。

| 1号車 京丹波 | 2号車 日吉 | 3号車 本梅 | 4号車 馬堀 | 5号車 別院 | 6号車 亀岡 | 7号車 マイクロ | 8号車 マイクロ | 9号車 マイクロ | 10号車 マイクロ |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 下山サンダイコー前 | 原公民館 | 本梅 | 森公民館前 | 京都先端科学大 | 宇津根 | 古世口 | 和知駅 | 桜台公園前 | アルプラザ前 |
| 国道富田 | 下佐々江 | 宮前 | アルプラザ前 | 法貴口 | 北町南 | 大葉台1丁目 | 丹波マークス | 亀岡市立病院前 | 古世口 |
| 松山駅 | 東谷 | 高芝 | 亀岡市立病院前 | 亀岡市役所前 | 古世口 | 土田 | 曾我谷 | 並河 | 亀岡病院前 |
| 動物病院前 | 興風体育館前 | 亀岡運動公園前 | 千代川駅前 | 宇津根 | 亀岡病院前 | 千代川駅前 | 淇陽学校前 | 国道八木 | 小口 |
| 淇陽学校前 | 鍼灸大前 | 並河 | | 西田 | 北古世 | 国道千代川 | 園部駅前 | | |
| 八木嶋 | 日吉駅 | 土田 | | | 保津文化センター | 谷牧場 | | | |
| | 松尾 | ブックオフ前 | | | | | | | |
| | 曾我谷口 | | | | | | | | |

登校時 9:00 着
下校時 15:05 発 (水曜: 13:35 発)

丹波支援学校

◇ カリキュラム ◇

◎ 小学部（6年間）◎

小学部では、子ども達が基本的な生活習慣、基礎的な生活力、学習への構えを身に付けて、中学部、高等部へと続く学校生活の土台を築いていきます。また、保護者と連携し共通理解を図りながら、子どもの内面を充実させ、健やかな自我を育てます。

「遊びの指導」「生活単元学習」を学習の中心に据えて、基礎体力を付けたり、伝えたいという気持ちを育てたりします。学んだことを生かして、学校近隣のスーパーマーケットで買い物をしたり、電車等の公共施設を利用したり、地域の文化に触れる学習をしたりして、様々な経験の積み重ねを大事にしています。さらに、社会生活で求められるスキルやルールの習得、「誰とでも一緒にできる」ことを大切にした集団での活動等を通して、地域の中で豊かに暮らす基盤を培っていきます。

小学部低学年 知的障害学級（例）

| 校時 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|----------------|-------|---|---------|------|
| 1 | 日常生活の指導 | | | | |
| 2 | 体育 | 自立活動 | | | |
| 3 | 遊びの指導 / 生活単元学習 | | | | |
| 4 | 日常生活の指導 | | | | |
| 給食・昼休み | | | | | |
| 5 | 自立活動 | 遊びの指導 | / | 音楽 | 特別活動 |
| 6 | 日常生活の指導 | | | 日常生活の指導 | |



遊びの指導「どうぶつとあそぼう」

小学部高学年 知的障害学級（例）

| 校時 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|--------------|------|---|---------|------|
| 1 | 日常生活の指導・自立活動 | | | | |
| 2 | 生活単元学習 | | | | |
| 3 | 体育 | 自立活動 | | | 体育 |
| 4 | 日常生活の指導 | | | | |
| 給食・昼休み | | | | | |
| 5 | 遊びの指導 | | / | 音楽 | 特別活動 |
| 6 | 日常生活の指導 | | | 日常生活の指導 | |



生活単元学習「イレブンラボ」

◎ 中学部（3年間）◎

中学部に学ぶ生徒には、思春期における急激な身体の成長、第二次性徴の発現、自我が育ち自己主張が強くなっていく等、様々な変化が起こります。日々の授業では、一人一人の学び方を大切にして、基礎的な学力を身に付け、生徒に達成感や自己肯定感をもたせることを心掛けています。

また、「生活単元学習」を中心に生活スキルを向上させ、好きなこと、得意なことを増やすとともに、友達や先生と豊かにコミュニケーションできる力を培うことを目標に指導しています。

特徴的な取組としては、近隣の中学校と中学部全員による交流及び共同学習や進路体験学習、地域の休耕田を借用し、米作りをする「米米くらぶ」等があります。また、生徒の実態に応じて「作業学習」にも取り組んでいます。

中学部 重度重複障害学級（例）

| 校時 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|-----------|--------|--------|---------|------|
| 1 | 日常生活の指導 | | | | |
| 2 | 自立活動 | | | | |
| 3 | 自立活動 | 生活単元学習 | 生活単元学習 | 自立活動 | 音楽 |
| 4 | 日常生活の指導 | | | | |
| 給食・昼休み | | | | | |
| 5 | 総合的な学習の時間 | 生活単元学習 | / | 生活単元学習 | 特別活動 |
| 6 | 日常生活の指導 | | | 日常生活の指導 | |



生活単元学習「米米くらぶ」

中学部 知的障害学級（例）

| 校時 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|--------------|------|--------|---------|------|
| 1 | 日常生活の指導・自立活動 | | | | |
| 2 | 自立活動 | 作業学習 | 生活単元学習 | | |
| 3 | 保健体育 | | 国語 | 数学 | 特別活動 |
| 4 | 日常生活の指導 | | | | |
| 給食・昼休み | | | | | |
| 5 | 総合的な学習の時間 | 美術 | / | 保健体育 | 音楽 |
| 6 | 日常生活の指導 | | | 日常生活の指導 | |



作業学習「なんでもや5組」

◎ 高等部（3年間）◎

高等部では、小中高12年間の学校教育の総和としてこれまで付けてきた力を確かなものにし、卒業後の生活を見通し自立と社会参加に向けた準備を進めています。また、一人一人が地域の中で自分らしく生き、幸せな人生を歩み続けるために必要な力の育成をねらい教育活動を推進しています。

教育課程の特徴である「作業学習（働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学ぶ学習）」では、日頃の学習で作上げた陶器、和紙製品、野菜等を製品販売学習で販売しています。販売を通して地域の方とつながり、地域の中で役割を果たしている実感をもたせます。さらに、卒業後の生活を見据えて、高等部段階でのキャリア発達を意識し、教科横断的に確かな「学力」を追究します。

高等部 知的障害学級（例）

| 校時 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|-----------|--------|------|---------|------|
| 1 | 日常生活の指導 | | | | |
| 2 | 自立活動 | | | | |
| 3 | 自立活動 | 生活単元学習 | | | |
| 4 | 作業学習 | 保健体育 | 作業学習 | | |
| 5 | 自立活動 | | | | |
| 6 | 日常生活の指導 | | | | |
| 給食・昼休み | | | | | |
| 7 | 総合的な探究の時間 | 自立活動 | / | 音楽 | 特別活動 |
| 7 | 日常生活の指導 | | | 日常生活の指導 | |



作業学習「紙工」

高等部 知的障害学級（例）

| 校時 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------|-----------|------|------|---------|------|
| 1 | 日常生活の指導 | | | | |
| 2 | 自立活動 | | | | |
| 3 | 国語 | 作業学習 | 作業学習 | 生活単元学習 | 美術 |
| 4 | 数学 | 自立活動 | 自立活動 | | 特別活動 |
| 5 | 自立活動 | 自立活動 | 自立活動 | 自立活動 | |
| 6 | 日常生活の指導 | | | | |
| 給食・昼休み | | | | | |
| 7 | 総合的な探究の時間 | 保健体育 | / | 音楽 | 特別活動 |
| 7 | 日常生活の指導 | | | 日常生活の指導 | |



作業学習「窯業」

*各学部の教育課程を抜粋して掲載しています。

◎寄宿舎◎ *入舎対象者は遠隔地等の入舎規程に基づいています。

寄宿舎は、仲間との日常的な生活を通して生活基盤を整え、社会性を育みながら、自立し、社会参加する力を培う場です。

「安心・安定」「自分らしさの発揮」「生きていく力」「好きなこと・楽しみの発見」を柱に、一人一人の子ども達の願いに寄り添った生活環境づくりに努めています。家庭を離れての仲間との生活は、自分のことは自分でやってみる、自分の時間の過ごし方を考える、仲間とともに遊ぶ、仲間と一緒に活動すること等を通して、“できた”“楽しかった”の実感を育み、心の安定を図ります。

生活の流れ

15:05 下校 *水曜日は 13:35 下校
 15:15 おやつ
 自由時間 (季節感のある遊びやスポーツ等)
 17:00 夕食
 自由時間 (入浴、洗濯、ティータイム等)



寄宿舎夏祭り

寄宿舎の行事

7月：夏祭り 12月：クリスマス会 3月：祝う会

◇ 交流及び共同学習 ◇

◎小学部◎

同世代の友達と一緒に活動する経験を積み、豊かな人間性を育みます。

低学年：南丹市立八木東小学校4年生との交流
 高学年：南丹市立八木西小学校4年生との交流
 全学年：居住地区との交流



◎中学部◎

同世代の生徒と関わる楽しさや経験を広げ、相互理解を深めます。

全学年：南丹市立八木中学校1年生との交流



◎高等部◎

同じ地域・世代の仲間と交流し、互いの理解を深め、学び合い、育ち合いの機会とします。

全学年：ロ丹地域の高校生の交流



◇ 部活動等の活動成績 ◇

◎ソフトボール◎



令和元年度京都府立特別支援学校スポーツ交流会 優勝

◎陸上競技◎



令和2年度南丹市優秀スポーツ賞 中学生の部・高校生の部

◎ビルクリーニング◎



第40・41回 アビリンピック全国大会 ビルクリーニング部門 銀賞

◇ 卒業後の主な進路先 ◇

卒業後の進路先を企業、福祉事業所、職業能力開発校、進学、その他の5つに分類しています。

| 年度 | 企業 | 福祉事業所 | 職業能力開発校 | 進学 | その他 | 合計 |
|-------|----|-------|---------|----|-----|----|
| 令和2年度 | 9 | 22 | 0 | 0 | 2 | 33 |
| 令和3年度 | 5 | 26 | 1 | 0 | 2 | 34 |
| 令和4年度 | 6 | 21 | 2 | 0 | 1 | 30 |

企業…ライフコーポレーション、ニチコン亀岡、鶴屋吉信、るり溪温泉、GU、ワコールアイネクスト、京都先端科学大学(事務、清掃) ユーシンショウワ、村田鉄筋、マイ・スター、京都CS、大和ムービング、十川産業、アルプラザ亀岡、株式会社マツモト 他

福祉事業所…亀岡福祉会、ワークスおーい、城山共同作業所、通所支援センターるりけい、はびあ、Grapegarden、美山育成苑、圭の家 えすべらんと・α、白桃舎 WORKS、ハーモニージョブズ、ひより舎、暮らしランプ、とんとん工房、あじさい園 あゆみ工房、u&n 就職支援センター、u&nWORKS、あしたーる工房、京都太陽の園、こひつじの苑、ゆうゆう、エヌファーム ヴィレレッジれん、ワークスタジオ亀岡、スマイルファクトリー、しゃくなげ共同作業所、花ノ木医療福祉センター 他

◇ たんば地域支援センター ◇

障害のある子ども達の教育や生活についての相談支援、特別支援教育にかかわるスキルアップのための研修支援を行っています。

主な相談・支援内容

- 子どもの発達や状態について
- 子どもの見方や捉え方について（発達検査を含む）
- ことばの遅れについて
- 身体の動きや姿勢について
- 学習や生活に関する適切な支援方法について
- 個別の指導計画や教育支援計画の作成と活用について
- 支援のコーディネーションやコンサルテーションについて
- 就学や進路指導の進め方について
- 校内研修会等への講師の派遣について



お問い合わせ

障害や発達、子どもの気になる行動、困っていることがあれば、まずはお電話ください。

☎ 0771-42-5185

*たんば地域支援センター担当まで
(月曜日～金曜日 9:00～17:00)

◇ アクセス ◇

電車でお越しになる場合



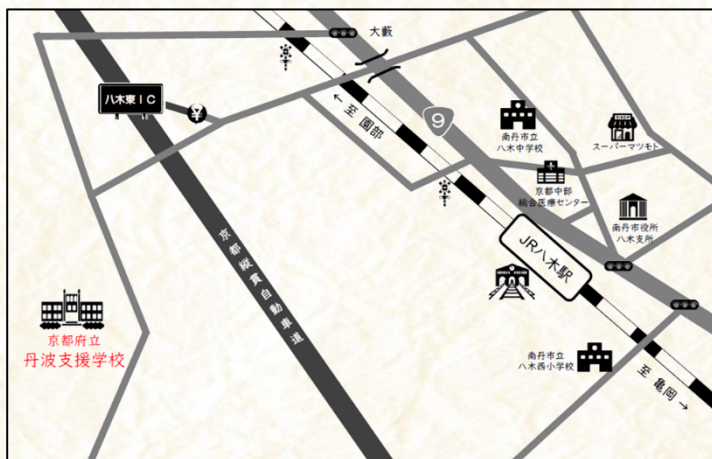
JR嵯峨野線「八木駅」より徒歩30分

お車でお越しになる場合



京都方面より
京都縦貫自動車道「八木東IC」下車3分

福知山方面より
京都縦貫自動車道「八木中IC」下車5分



校章



全体の形は、丹と輪（和）から成り立っている。

1. 丹波高原の自然の美しさ（準平原）を表し、恵まれた自然の中でのびのびと成長を願うものである。
2. 丹は一市二郡（亀岡市・旧船井郡・旧北桑田郡）を意味し、それぞれが輪によって結ばれ、本校が一市二郡によって設立され、今後も協力・協調して学校づくりを目指すものである。
3. 丹の字の先端は一人一人の子どもの成長と発達を限りなく願うものである。

京都府立丹波支援学校

〒629-0154 京都府南丹市八木町柴山坊田118

TEL 0771-42-5185 FAX 0771-42-5186

HP <https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-s/cms/>

Mail tanba-s@pref.kyoto.lg.jp

